



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2010 / 2011)

- 国 際 会 長 「心新たに立ち上がろう」
- ア ジ ア 会 長 「心新たに立ち上がろう」
- 西 日 本 区 理 事 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
- 中 部 部 長 「ワイズはフェイス to フェイス」(コミュニケーションは顔を見て声かけて)
- 名 古 屋 会 長 「誇りと愛と希望をもって」

2010 ~ 2011 10 月 号 (No764)

10月例会プログラム

プラスワン例会

と き : 2010年10月12日(火) 6:30p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ : 名古屋 YMCA

- 司 会 渡辺 真悟 君
- 開会宣言 会 長 相馬 静香さん
- ワイズソング
- ゲスト紹介
- 聖書朗読・祈禱 成瀬 晃三君
- 入 会 式
- 食 事
- プログラム
「ワイズ・国連・MDGs」
奈良 昭彦氏
- 諸報告
- ハッピーバースディ
- ドライバースピーチ 塩田 保君
- 閉会宣言 会 長 相馬 静香さん

IBC の 思 い 出

尾 関 明

韓国の Y's と IBC 締結については、私が会長のときに申込を受けた記憶があります。当時は未だ、クラブ内にブラザークラブの実感がわいて来なかった時代でした。

1974年、国際大会が日本区熱海で開かれたとき、ノースサイド・ミネアポリスクラブのメンバーがメネット同伴で多数来日され、大会を通じて、ブラザークラブとしての交流が出来たことが、名古屋クラブの全メンバーに強く印象づけられ、次は韓国区にぜひブラザークラブをもつ方向に向いていったようです。

1975年には相馬 Y's が高校生セミナーの団長として、翌年には津山 Y's が日本区理事として、1977年には私が再度高校生セミナーの団長としてソウル YMCA を訪ずれ、当時の韓国区総裁金南駿氏に紹介されたのがソウル「聖岩」クラブでした。このクラブを紹介して下さった金さんの言葉を思い出します。「ソウルにあるクラブがよいでしょう、交通も便利ですし、ソウル YMCA も近いですから……。このクラブは出来て2年程にしかありません。メンバー数は20名程ですが、全メンバー戦後派の人で、年齢も20~30才までの若いクラブです。未だ戦前の人々には日本に対する複雑な感情がありますからね……」そして2回、聖岩クラブの会長、梁さんと会いました。固い握手を何度も交わし、十分に準備をいたしましよと確認しました。

以後名古屋クラブの会長五島君を初めとする、深谷、伊左治、韓国通の落合君とメンバーが協力、準備されました。10カ月後1978年5月5日にめでたく IBC 締結式をソウル YMCA に於いて開き、名古屋クラブからは12名のメンバーと9名のメネットが参加する、クラブ始めて以来の大出来事であったと思います。

第 2 例 会

と き : 2010年10月19日(火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
 と ころ : 名古屋 YMCA
 プログラム : 11月例会について 他

会 長 相馬静香 書 記 加藤明宏
 副 会 長 渡辺真悟 長井 潤 成瀬晃三
 プリテン 久保田 平野 伊左治 会 計 川口 恵 塩田 保

9月クラブ出席		B	F	9月個人出席						第 一 例 会 (9/14)		
在 籍	27名	切手	15pt	青 木	木 本	○	長 井	◎	メネット 尾関 加藤(朱) 長井 西村			
第 1 例 会	21名	9月	現金 0pt	飯 田	久保田	◎	成 瀬	◎	ゲスト 杉山(南山) 鈴木(大阪サウス)			
メネット	4名			伊左治	○	黒 川	○	西 村	○	第 二 例 会 (9/21) ゲスト 千賀		
第 2 例 会	7名			岩 田	○	五 島	◎	平 野	○	中 部 部 会 (10/2)		
メネット	0名	小計	15pt	尾 関	○	小 谷	○	深 谷	○	尾関 久保田 小谷 相馬 谷川 成瀬 西村 平野 渡辺		
ゲスト・ピッサー	2名	累計 (7~9月)	切手 75pt	小 尾	○	塩 田	○	水 谷	○	メネット 尾関 加藤(朱) 長井 西村		
メーキャップ	0名			加藤明	◎	鈴 木	功	渡 辺	◎	六 甲 部 会 (9/11) 成瀬 平野		
出 席 率	80.8%			現金	0pt	加藤晃	○	相 馬	◎	京 都 部 会 (9/12) 成瀬 谷川 平野		
メ ネット 会	6名	累計	75pt	川 口	○	谷 川	○	中 西 部 部 会 (9/18) 成瀬 平野				
				川 本	○	寺 田	○	阪 和 部 会 (9/23) 平野 長井 成瀬 相馬 谷川 西村				
								西 中 部 部 会 (9/25) 成瀬 平野				
								九 州 部 会 (9/26) 長井 成瀬 平野				
								ひわご部会 (10/3) 成瀬 平野				
								○第1。第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ				

第一例会ゲストスピーカー紹介

奈良昭彦氏（名古屋グランパスクラブ）

1944年 東京生まれ。大学で金属加工、大学院で建築を学び、建築設計事務所を自営。

1960年 東京YMCA 維持会員となり、東京山手ワイズメンズクラブ入会。YMCAでは、山手センター運営委員長、東京YMCA 国際奉仕センター運営委員長など、ワイズメンズク

ラブでは、クラブ会長、(旧)南東部長、(旧)日本区Yサ・AFC 事業主任、東副区理事、東日本区準備委員長などを務める。

1997-2000年 国際議員。

1999-2000年 アジアエリア会長

2001-2003年 ヒマラヤのブータン国、2005-2007年に中米のセントルシア国にJICA シニアボランティアとして赴任。現在は大阪女学院非常勤講師、淀川キリスト教病院評議員など。

■■■ 第1例会レポート ■■■

とき 2010年9月14日(火) 18:30～20:30

ところ 名古屋YMCA

今月は8月に行われた日韓ユースセミナーの団長として参加された成瀬メンとユースメンバー3名、スタッフを招いての例会でした。

3名のユースメンバーも初めての韓国訪問で、期待と不安で心がはち切れそうであったにもかかわらず、日を重ねる毎にそんな不安も何処かに飛んでいってしまい帰りは涙の別れ

になってしまう程の愛と平安に包まれた、素晴らしいセミナーであったとの報告でした。

特にホームステイでは、お互いに拙い韓国語と日本語と英語とポディランゲージで近くて遠い隣国とされてきた両国の距離が徐々に縮まっていくことを確信できたそうです。

南北軍事境界線を訪問し、日本では馴染みのない戦争を肌で感じる事が出来、改めて平和の重要性和自分たちが日本に生まれたことを感謝すると同時に日韓のユースメンバーが南北統一を世界市民として願ったそうです。

これおからの平和な地球を担う、より多くのユースに、このプログラムを体験して欲しいと思います。(深谷 聡)

新入会員 紹介

千賀 将氏

1983年10月5日生まれ

メネット 美菜子さん 2月21日生

名古屋大学医学部保健学科卒 作業療法士

中部労災病院勤務

趣味は旅行

■■■ 第2例会レポート ■■■

とき 2010年9月21日(火)19:00～20:15

ところ 名古屋YMCA

1. 9月第一例会報告

日韓 ユースセミナー報告会

再開をして本当によかった。

2. 10月第一例会について

プラスワン例会

「ワイズ・国連・MDGs」

スピーカー奈良明彦氏(名古屋グランパスクラブ)

留意事項 受付をきちんと行う。

ゲストの名札を作成する。

ゲストの人数を加藤さんに10月9日までに連絡する。

司会 渡辺君

千賀君の入会式を講話の前に行う。

ゲスト紹介をしっかりと行う。

時間節約の為「讃美歌」を削る。

3. 11月例会 11月9日 平良一器氏

題は「遺言証書」の予定

4. 中部部会 10月2日 金沢

参加申込

(メン) 成瀬 谷川 相馬 平野 久保田 西村 渡辺

小谷 尾関

(メネット) 尾関 西村 加藤(朱) 長井 計13名

5. ジャガイモ受取 10月16日 14時 南山ランチ

(成瀬 晃三)

今月の聖句

自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。

マルコによる福音書 9：50b

西村 清

日本と世界の精神史に関わる書に、丸山真男の『日本の思想』と竹山道雄の『剣と十字架』がある。丸山は日本の思想的特長を「無限抱擁性」による「雑居性」としてとらえた。そのような特質を育成してきたのは日本の伝統的な宗教であるという。「わたしたちの伝統的宗教がいずれも、新たな時代に流入したイデオロギーに思想的に対決し、その対決を通じて伝統を自覚的に再生させるような役割を果たしえず、そのために新思想は次々と無秩序に堆積され、近代日本人の精神的雑居性がいよいよ甚だしくなった」という。わかりやすく言えば「だらしなさ」であり、「要領のよさ」ということになる。「清濁併せ呑む」というような言葉に表現されるも

のでもある。そこには清を清とし、濁を濁とする分別の精神がなく、すべてが大いなる和の中に抱擁される。いわば「大和」の国である。

もう一方の『剣と十字架』ではちょうど反対の結論を出す。西洋の歴史に見られる、剣によって象徴される力と力との不寛容な闘争は、キリスト教の異端征伐思想に由来するという。神に従う民と神に背く者とを二元的に区別することによって、後者を徹底的に滅ぼしつくそうとする精神は、十字軍や30年戦争に見られるような不寛容を生み出し、現代に至るまで力と力とのぶつかり合いを生んできたという。これを救うのは、むしろ東洋的・仏教的な「清濁併せ呑む」寛容さではないかという。ただそこには塩の厳しさをもたないことによって、「だらしない」和らぎの精神に転落しはしないかということも反省されている。

しかし聖書の精神は、これらのいずれにも真実の解決がないことを示している。「西洋的」キリスト教も東洋的仏教も離れて、「聖書」のキリスト教へと向かわざるをえない。そこには、塩の厳しさを持ったままで、互いに和らぐべきことが示されているからである。

『フィズメンの賢い話』(No174)

『いちじくの木』

「いちじくの木を見たことある?」。「見たことはないけど、実は結構おいしいよね。丁度夏から秋にかけて店で売っているよね」。「いちじくの木は、聖書の舞台であるイスラエル地方では、昔から食糧として重要な木であったのだよ。人類最初のアダムとエバがエデンの園で神さまから禁じられていた果実を食べると、急に裸であることが恥ずかしくなっていちじくの葉で腰を覆ったという話があるよ。そこで、イエス様の時代に、ある人がぶどう畑にいちじくの木を植えて、三年たったけど、なかなか実が成らなかつたのだよ。そこで、その人が園丁に向かって、実が成らないならば切り倒しなさいと言ったのだよ。そうすると、園丁は、今年はこのままにして

おいてください。肥やしを十分にやれば来年は実がなるかも知れないと言ったのだよ」。「そうか。だけどそれはどういう意味があるの?」。「それは、人間がいちじくに譬えられているのだけど、人間だって、誰もがいちじくのように毎年実が成るような成果は上げられないよ。成果が上げられない時にこそ、あたたかく見守ってあげて、肥やしのように声をかけて元気づけてあげれば、次の年には成果を上げることが出来るのだよ。だから、実の成らないいちじくのように成果を上げることが出来ずに失望している人に対して、あたたかく見守って、元気づけてあげることが必要なのだよ。そうすれば、必ず成果を上げることが出来るようになるのだよ」。

(ルカによる福音書 13章 6-9節)

(寺田仁計)

ジャガイモのうけわたし

10月16日 pm2:00 に南山ランチに到着 当日受取にお越しくください。



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

10月メネット例会ごあんない

10月2日 中部部会(金沢) 出席(10月の例会に代える)
10月9日(土)「愛実の会」奉仕

第14会中部部会

と き: 2010年10月2日(土) 11:00~17:00
と ころ: 金沢ニューグランドホテル

メ ネット 例 会 レ ポ ー ト

と き: 2010年9月18日(土) 10:00~
と ころ: 名古屋 YMCA

50周年記念行事に向けて

厳しい暑さもようやく和らぎ、さわやかな秋の訪れを…例年ならそうなるはずの9月例会ですが、今年は異常とも思われる残暑の中でした。



今月は、来年4月に予定されていますメネット50周年記念行事の準備作業です。

それぞれに持ち寄った大量のメネット関連の写真をプリンターと照らし合わせたり、みんなの記憶を呼び起こしたりしながらメネット会の歴史をたどる第一歩を踏み出しました。

とても若くて今より更にはつらつとされている諸先輩メネット。既に天に召されたメネット。今は別々のクラブに分かれています。かつては同じ名古屋クラブで活動されていたメネット…50年経って凄いいことですね。

更に資料を集め、整理をしてみなさんにどのような形でご覧いただくか、これからの課題です。

仕事が一段落ついたころ、ちょうどお昼。伊左治メネットが準備してくださった山菜おこわとスイーツ「餡 on the トッポギ クミ子風」を美味しくいただきました。

午後は、西村メネットのご指導のもと「葉っぱで作るばった」に挑戦。細長い葉っぱを右にねじったり左に回したり、まさに指先と頭の体操です。さすがのメネットもしばらくは無言で悪戦苦闘。西村メネットの手取り足取りのご指導のおかげで、数匹は完成したようです。(中には青虫のままの…)

上手に作って中部部会へのお土産にできますようにとの願いとともに、それぞれ宿題の葉っぱを持ち帰りました。(長井衣世)

120名のワイズのメンバーが参加して、評議会、合同メネット会、部会、講演、懇親パーティが開催されました。京都パレスクラブの大野嘉宏氏が「元気ですか 中部!」と題して講演され、EMCに苦勞する中部の各クラブに励ましが与えられた、と理解しました。大野さんの話された内容は今までにいろいろな表現で私たちに示されていることですが、「まず自分の内に向かって問いかける」ことの大切さを強調されたことには、改めて教えられました。極めて努力が必要なことですが、クラブ活動の活性化にはこれしかないと感じた次第です。

東海クラブの浅野さんがバスの手配をして下さったので、部会に参加した20名がこのお世話になりました。往復8時間のバスの中での交流はとても楽しいひとときでした。浅野さんに記して感謝いたします。

(小谷治郎)

.....

ハッピーバースデー

メ ン	メネット
10月5日 飯田 和也君	10月3日 渡辺規子さん
5日 千賀 将君	6日 岩田昌子さん
7日 加藤 明宏君	
27日 深谷 聡君	

Happy Wedding Anniversary

10月6日 寺田仁計・純子夫妻
28日 岩田鑛一・昌子夫妻

BIF

切手(9月分)
深谷 聡君 15pt
計 15pt

参加: 西村 加藤(朱) 長井 伊左治 加藤(邦) 尾関